

防災の視点 10月

災害時のためのトイレの備え
～家のトイレを非常用トイレに～

「トイレの問題は命や尊厳に関わります。」災害時には、トイレの頻度を減らすため水分を控え体調を崩すなどの健康被害や、女性が屋外で性的被害にあうなどの問題も起きています。また、断水時や停電時にはトイレが使用できないことがあります。「携帯トイレがあれば大丈夫」と思っても、**トイレの回数は1人1日約5回**。家族4人なら1日20回分、1週間なら140回分が必要となります。そこで今回は、**自宅のトイレを非常用トイレにする方法**を紹介します。

まずは排水管・下水道を確認

住居の排水管は下水道まで繋がっているのですが、災害などにより排水管が損傷を受けたり、排水溝が詰まったりしていると、汚水が逆流して室内に溢れることがあります。また、居住の排水管に問題がなくても、下水道が損傷を受けている場合は、排水ができなくなります。大きな地震（震度5以上が目安）や台風などの豪雨被害の後には、**「排水管が壊れていないか」「下水道は使えるか」を確認してからトイレを使用しましょう。**

下水道については、豊田市のホームページ等で確認できます。

逆流しそうなときは、ゴミ袋に半分ほどの水を入れた「手作り水囊」でトイレに蓋をしましょう。

自宅のトイレを非常用トイレに変更

【非常用トイレの作り方】

- ①便座を上げて、封水（便器に溜まっている水）の上から下地袋を掛けて養生テープで固定する。便器の開放部をすっぽり覆うことがポイント。できたら便座を下ろす。



- ☀️下地袋により、毎回の排便袋交換の際に濡れた排便袋に触れなくてすむ。

- ②下地袋の上から、便座を覆うようにして排便袋を掛ける。排便袋は汚物が目立たないように、色のついたものがオススメ。



- ③排便後に非常用トイレの凝固剤で固める。

- ☀️凝固剤の代わりに、排便袋の中に小さくち切った新聞紙やペット用シートを敷いて吸収させるのもOK。（コスパと機能面でペット用シートがお得）



- ④排便袋だけを取り出し、空気を抜いて縛って捨てる。ゴミ収集が止まっている場合は、各家庭で蓋付ゴミバケツに入れて保管する。